

2008年1月22日

報道関係各位

イオンモール株式会社

「(仮称)イオンモール大牟田」開発計画について

この度イオンモール株式会社(以下、当社)では、「(仮称)イオンモール大牟田」(福岡県大牟田市岬町)の出店につきまして、この度建築基準法第48条第12項に基づく許可を取得し、都市計画法第29条に基づく開発行為許可申請を行いましたので、正式に出店の表明を行うとともに、その計画概要についてご案内申し上げます。

〔開発主旨〕

大牟田市はかつて、日本の発展を支えた豊かな石炭資源を基盤とし、日本を代表する工業都市として発展してきました。然しながら、石炭産業の衰退とともにまちの活力も失われつつある現状の中、再び大牟田がかつて活力を取り戻し、商業という新たな産業で筑後地域の中核都市として発展することに、当社と致しましても微力ながら貢献できるのではないかと考えております。

また、大牟田市の発展を支え、今年で開港100周年を迎える三池港に近い岬町地区で、大牟田市のまちづくりに参画させて頂けることは大変意義深いことと考えております。

岬町地区は、「交流拠点」として幅広い機能や空間を実現し、魅力ある大牟田市のまちづくりにおいて今後重要な役割を担うことが期待されております。また、2006年9月には「大牟田市岬町地区地区計画」が決定されております。この大牟田市岬町地区地区計画は、再開発によって多様な世代が交流できる地区を創出することを目標としており、地区計画における土地利用方針の一つとして定められている「広域的な商業施設の導入」に基づき、複合型ショッピングモールを開発するものです。なお、近くには、日本を支えた「炭鉱のまち」を物語る、「大牟田市石炭産業科学館」や、名所「諏訪公園」があり、この再開発による岬町地区の更なる活性化及び大牟田市の魅力あるまちづくりの一翼を担ってまいりたいと考えております。

当計画地は、現在施工中の有明海沿岸道路「大牟田IC」に近接し、大牟田・荒尾の広域都市圏の南北骨格道路となる「国道208号線」や、JR・西鉄「大牟田駅」から約1.5kmと、大牟田市はもとより福岡県筑後地域及び熊本県北部地域を含む広域的なマーケット(商圏)を有しています。

当ショッピングモールは、このように恵まれたアクセス条件に基づく商圏と約220,000㎡の広大な敷地を活用し、多様化するライフスタイルへの対応、高感度なモノ・情報を発信し、買物だけでなく地域の皆さまが楽しめるエンターテインメント空間を併せ持つ、地域の交流拠点として本格的なリージョナル型ショッピングセンター(SC)として開発します。



この用紙は古紙100%を使用しております。

また、従来のショッピング機能に加え、隣接する「石炭産業科学館」や、市民憩いの場である「諏訪公園」との一体的な連携、及び今後地区計画区域内の再開発により新設される様々な施設とも連携を図り、学びや憩いをも併せ持つ、ハイブリッド型SCを目指します。

そして、周辺環境への配慮はもちろんのこと、健常者の方のもとより、お子さまや高齢者、お体の不自由な方など来店される全ての方々に安心、快適に利用いただけるようユニバーサルデザインを積極的に導入して、地域の皆さまに愛されるSCづくりを進めてまいります。

なお、施設等については詳細が確定しておりませんが、現在想定しております計画施設の概要は以下のとおりです。

[計画施設概要]

- | | |
|---------------|---|
| 1. 所在地 | 福岡県大牟田市岬町3番4他 |
| 2. 建物設置者／運営管理 | イオンモール株式会社 |
| 3. 施設名称 | (仮称)イオンモール大牟田 |
| 4. 開発面積 | 約 220,000㎡ |
| 5. 延床面積 | 約 93,000㎡ |
| 6. 構造・階数 | 鉄骨造・地上2階(一部1階) |
| 7. 店舗面積 | 約 42,000㎡(立地法上物販面積) |
| 8. 駐車場台数 | 約 4,700台 |
| 9. スケジュール | 2008年 2月頃 造成工事着工予定
2008年 4月頃 建築工事着工予定
2009年 春(有明海沿岸道路全線開通予定) 開店予定 |

* 本件に関する問い合わせ先

イオンモール株式会社 経営企画部 広報担当 宮入・野口 TEL 043-212-6733

<完成イメージ図>

